

“メダカに見える加齢変化”

講演者： 菅田 (ちさだ) 慎一 博士



杏林大学 医学部

衛生学公衆衛生学教室 助教

<日時> 令和元年 (2019年) 6月19日 (水)

14時～15時

<場所> 理学部 1号館 1階 101号室 (BP2)

健康なメダカは、一定量を摂餌すると満腹になる。血糖値もあがる。健康でないメダカは明確に「健康でない」と体现し、老齢のメダカは代謝が落ち、痩せる。食べ過ぎれば糖尿病になり、糖尿病を放置すると腎症になり、網膜症になり、白内障になる。これらの多くはヒトやげっ歯類と共通する代謝系を起因とする。本セミナーでは、レプチン受容体欠損メダカの高血糖と加齢に伴う二次病変と、ミオスタチン変異メダカと野生型メダカで認められた成長に伴う変化を、ヒト疾患モデル研究におけるヒトへの外挿性を踏まえて紹介する。

BioPhysics Seminar

生物科学専攻生物物理学系

京都大学
大学院理学研究科

TEL

森 和俊

753-4067